



高取 誠隆 議員

高島市の財政運営と
行財政改革の方向性
について

問 高島市の財政状況を踏まえ
た今後の見通しは

答 厳しい財政状況の中、将来の財政見通しを明らかにするため、長期財政計画の改定を行う予定をしています

問 高島市の財政状況を踏まえ、「支出削減」と「将来投資」のバランスをどのように考えているか。

答 総務部長

合併後の行財政改革の取組みにより、市の財政状況は大きく改善しましたが、令和6年度で合併特例事業債が終了するなど、これまでの予算規模を継続していくには極めて厳しい財政状況に陥ることが予測されます。ご質問の「支出削減」と「将来投資」のバランスを考えるうえで、将来の財政見通しを明らかにする必要があります。そのため、今年度中に長期財政計画の

改定を予定しております。長期財政計画は限られた財源の重点的かつ効果的な運用を図り、将来に責任が持てる持続可能な財政運営を行うための指針となるもので、関係部局が共通認識を持ち、今後の財政運営に努めてまいります。

問 長期財政計画を改定予定と
いうことだが、その理由は何
か。今後の歳入・歳出の見通
しは、下がるのか、横ばいか、
上がるのか。

答 総務部長

合併特例債の終了や建設費高騰、今後の大規模事業予定もあるなど、環境変化に対応

するため長期財政計画の改定を予定しております。今後の歳入・歳出の規模の見通しについては、長期財政計画を策定したうえで考えてまいります。

問 「将来投資」とは具体的に
何か。

答 総務部長

今後大きな事業などが予定されていることや、インフラ施設の維持管理経費等が必要となります。それぞれの年度ごとに様々な投資が必要なることを先に見込みながら、財源の確保や、歳入の状況を積み上げていきたいと思います。

問 「将来投資」歳入を増やす」という視点で聞きたい。歳入を増やすうえで、何か具体的な考えはあるか。

答 総務部長

歳入確保策として現在、ふるさと納税や企業誘致による働く世代の定住による税収の確保、広告事業の導入や公金の運用益などを進めているところがございます。

問 ふるさと納税の今後の見込み額は当分6億円だったはずだが、今後さらに伸ばす意欲は本当にあるのか。

答 総務部長

全国的にはさらに多くの寄付を集めている自治体もありますので、今後さらに増やしていく工夫をしていきたいと考えています。

その他の質問

・指定管理者制度の運用と制度見直しについて